



R I テーマ 『世界に希望を生み出そう』

会長 鈴木 義一
副会長 勝又 明
幹事 芹澤 豊
裾野RC事務局 susonorc@gmail.com

第1965回 例会記録 2024. 2. 2 天気 : ☀

会長挨拶 鈴木 義一

皆さんこんにちは。

富士山の雪も1月に入つてようやく宝永山の下まで積もり、冬の富士山になりました。早いもので、2月に入り4日は春の始まり立春で、前日3日は節分、平松の佐野原神社でも節分祭があります。

節分という言葉には、季節を分けるという意味があり、本来は季節の始まり日である二十四節気の、立春、立夏、立秋、立冬の前日、4回の節分全てを指すそうです。

昔の人達は、季節の変わり目は鬼・邪気が入り込むと考えていたので、それを追い払つて一年の幸福・無病息災を願う行事として行われてきたので、1年の始まりである立春の前日を指すように成つたようです。

この節分、2月3日というイメージがありますが、来年は2月2日になります。これは4年に一度のうるう年と関係があり、二十四節気は天体の動きに基づき、太陽と地球の位置関係で決まり、起動周期は一年きっかりではなく、少しずつズレが生じる為、4年ごとに1日増やしたうるう年を設定することで、帳尻を合わせるようです。節分の食べ物には、豆の他に、恵方巻き、こんにゃく、けんちん汁、節分そば、くじら、等地域により習慣があるようです。定番になっている、恵方巻の食べ方は、その年の年神様がいる方角を向いて食べる。

第1966回 例会プログラム 2024. 2. 9 (金)

開会点鐘 12:30	[例会内容]
ロータリーソング	外部卓話
ゲスト・ビジター紹介	裾野警察交通課部長 八木 様
会長挨拶	【理事会】
幹事報告・委員会報告	閉会点鐘 13:30

例会場：米山記念館
長泉町上土狩346-1
TEL 055-986-2946

例会日：金曜日
12:30～13:30
(月3回例会)

会長指針 『始めよう 地域が望む奉仕作業』

毎年その方向は変わり今年は東北東です。太巻きは福を巻き込むという意味も含まれ、ご縁や福が途切れたりしないように包丁で切らず1人1本を食べましょう。食べている途中に話すと運が逃げてしまうと言う説もあり、願いごとをしながら、最後まで話をせずにたべます。それでは、今日は、会員卓話よろしくお願ひします。



幹事報告

- R I から
 - ・ ロータリーの友(2月号) 配布
 - ・ ロータリーレート(2月) 1\$ / 147円
- 2620地区
 - ・ 地区各クラブ国際奉仕事業ツアのご案内
 - ・ RLI①②開催のご案内(オンライン)
- 第2グループ
 - ・ 静岡第2GbのIMは3/30(土)です
- 裾野RC関係
 - ・ 週報 配布
 - ・ 2/9の例会は外部卓話で裾野警察交通課にお願いしました。
 - ・ 2/16の例会は夜間例会です

本日のスマイル

- ・ 飯塚秀男 君 … 寒の内の割に暖かいですね
- ・ 芹澤 豊 君 … 合同例会お疲れ様でした

【会員卓話：小野 靖 君】

「固定種」は安全 「F1種」は危険はホント？



メリット (1) 発芽や生育がそろいやすい

F1種は発芽時期や生育期間がそろっているという特徴があり、収穫もいっせいに行えて、形などの見た目も均一化されている。そのため、大量生産が可能となり価格の安定にもつながる。また、出荷や梱包時の手間が省けるというメリットもある。

メリット (2) 病気に強い

F1種には、特定の病気に対して耐病性を持った品種などもあることから、その野菜で起こりやすい病気を防ぐことができる。

メリット (3) 一般受けしやすい野菜を作ることができる

苦みや香りなど元々はクセの強い野菜でも、F1種として品種改良をすることで、食べやすく一般受けする野菜を作ることができる。

メリット (4) 生育が旺盛

植物の交雑によって採種された種は、両親よりも優れた形質を持つ「ヘテロシス」という現象が起こることから、F1種は一般的に生育が旺盛で収穫量にもいい影響をもたらす。

デメリット (1) 每年種を買わなくてはならない

デメリットというよりも、これはF1種固有の特徴だが、優劣の法則によって、F1種からできた種は同じ形質の種が採れるわけではないので、同じ品種の種が欲しければ種苗会社などから毎年種を購入しなくてはならない。コストと購入の手間などがかかる。

なぜ「F1種」を避けたがる農家がいるのか？

まず、F1種が危険と言われている理由のひとつである「雄性不稔」について説明しよう。

雄性不稔とは、花粉が作られず種子をつけない性質を持った植物のこと。これは種苗会社などでF1種を作る際にとても都合が良く、実際に大根などさまざまな野菜の交配に利用されている。

この性質をもって、「種子をつけない=自然な状態ではないから危険」という間違った認識で、F1種への誤解が広まってしまっているのが現状だ。

本日(1965回)の出席報告 於:米山記念館 2024. 2. 2				
会員総数	計算会員	出席者数	出席率	前々週修正出席率
12名	11名	8名(MU0名)	72.72%	%

次回予定 第1967回
2024. 2. 16 (金) 夜間親睦例会「ちあき」
発行者 鈴木 義一